
大学教育学会ニュースレター

No.124 2023.09.25 Web サイト公開用修正版 2023.10.18

一般社団法人大学教育学会 (Japan Association for College and University Education)

事務局：〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原 2-8-20-204

TEL/FAX：(042) 707-8112

郵便振替口座：00210-9-102857 一般社団法人大学教育学会

E-mail: office@jacue.org URL: <http://jacue.org>

大学教育学会 2023 年度課題研究集会

統一テーマ

学習者中心の大学マネジメントを考える

大学教育学会 2023 年度課題研究集会 企画委員会委員長
鳥居 朋子 (立命館大学)

学習者を中心とした大学マネジメントへの多角的な視点
—企画委員長挨拶—

2023 年度大学教育学会課題研究集会は、4 年ぶりに対面形式（一部オンライン配信あり）での開催となります。開催に際し、統一テーマを「学習者中心の大学マネジメントを考える」といたしました。

新型コロナウイルスの影響を受け、各大学でオンライン教育の導入や拡充が進むに従い、学生の学習行動や学びの実態への理解がますます重要になりました。同時に、内部質保証の観点から、取り組みの効果や学習成果の検証に必要なデータを得て、機動的なマネジメントにつなげていくために、教学 IR の機能の活用が促されたといえます。

もっとも、学習者を中心とした大学マネジメントは、コロナ禍での特例的な対応ではなく、中長期的な視野が必要です。振り返れば、2018 年中央教育審議会答申「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン」にて、「学修者本位の教育の実現」が謳われました。これを受けて、各高等教育機関の既存のシステムを前提とした「供給者目線」を脱却し、学位を与える課程（学位プログラム）が、学生が必要な資質・能力を身に付ける観点から最適化されているかという「学修者目線」で教育を捉え直すことが求められています（教学マネジメント指針）。加えて、正課以外の経験も学生の成長やウェルビーイングを支えているのであれば、それらの学びの成果も視野に入れ、総合的に最適化を図っていく必要があるでしょう。

こうした文脈で、本企画では「学修」ではなく、ラーニングを意味する「学習」を用い、学習者を中心とした大学マネジメントを多角的な視点から捉え直し、その意義やアプローチを検討します。全学-プログラム（学部・研究科）-科目といった重層的な構造をふまえ、多様なアクターがどのように参画するのかを問いながら、リーダーシップの多層性について議論したいと思います。基調講演には、学校法人経営だけではなく、国公立大学のマネジメントにも造詣の深い吉武博通先生（東京家政学院理事長）をお迎えし、近年の大学マネジメントの取り組みや課題についてご講演いただきます。さらに、開催校シンポジウムでは、学生中心の大学づくりに取り組んでこられたトップマネジメント、教員、学生の方々に登壇いただき、多角的な視点からリーダーシップの多層性について考えを深めていきます。

情勢が変化しても、学習者自身が学習成果を実感できるような教育が求められることに変わりありません。コロナ禍が徐々に過去のものとなるなか、学習者中心の大学マネジメントはいかにあるべきなのか、みなさまとともに議論し、大学教育の研究および実践の手がかりを得る場になることを願っています。

大学教育学会 2023 年度課題研究集会

実施要項

統一テーマ： 学習者中心の大学マネジメント

主催： 一般社団法人 大学教育学会

共催： 北陸大学

期日： 2023 年 11 月 11 日（土）～11 月 12 日（日）

形式： 対面形式（第 1 日目午後のみ同時オンライン配信あり。会員は無料で視聴可能。）

会場： 北陸大学太陽が丘キャンパス 〒920-1180 石川県金沢市太陽が丘 1-1 tel:076-229-1161

【スケジュール】

第 1 日（11 月 11 日）

9:00	10:00	12:15	13:00	13:20	13:30	15:00	15:10	17:00	17:45	19:45
受付	ポスターセッション	昼食	開会行事		基調講演		開催校シンポジウム		情報交換会	

第 2 日（11 月 12 日）

9:00	9:30	12:00	13:00	15:30	15:40	16:00
受付	課題研究シンポジウムⅠ 課題研究シンポジウムⅡ	昼食	課題研究シンポジウムⅢ 課題研究シンポジウムⅣ		閉会行事	

第 1 日 11 月 11 日（土）

9:00 受付開始（2 号棟 2 階学生ホール）

10:00 ～ 12:15 ポスターセッション（4 号棟 CROSS HALL） ※一覧は Web サイト掲載

13:00 ～ 13:20 開会行事（2 号棟 201 講義室・オンライン配信）
開催大学挨拶
学会会長挨拶

13:30 ～ 15:00 基調講演（2 号棟 201 講義室・オンライン配信）
演 題：「学習者中心の大学マネジメント」
講 師：吉武 博通 氏（東京家政学院理事長）

15:10 ～ 17:00 開催校シンポジウム（2 号棟 201 講義室・オンライン配信）
テーマ：「学生中心の大学づくりのための大学リーダーシップの多層性」
シンポジスト：① 森 朋子（桐蔭横浜大学学長）
② 杉山 歩（山梨県立大学教授）
③ 日下 恭輔（北陸大学助教）
④ 馬縹 百優（北陸大学経済経営学部学生）
司会・モデレーター：杉森 公一（北陸大学教授）

※基調講演と開催校シンポジウムは、会員限定で同時オンライン配信あり（※会員向けに 11/6 にお知らせ予定）

17:45 ～ 19:45 情報交換会（2 号棟 1 階 カフェテリア）

第 2 日 11 月 12 日 (日)

9 : 30 ~ 12 : 00

【課題研究シンポジウム I】 「コロナ禍がもたらす大学教育の可能性—対象・方法・内容—」
(2 号棟 201 講義室)

新型コロナウイルス感染症により、オンラインによる非対面授業が大学に余儀なく広まった。こうした状況における大学教育の可能性をさぐるために、本課題研究では学生の学習を支援する学習環境デザインと学修成果の評価をとりあげ、2つの異なる接近法を並行させて 2021 年度に研究を開始した。2023 年 5 月には感染症の扱いが 5 類に変更されてコロナ後の時代に移行したが、これに対応して、コロナ後に視野を広げて課題研究のしめくりとしたい。すなわち、千葉を代表とするサブグループでは、コロナ後の学習環境の運営に関する考え方や手法を整理し、学習環境の設置・運営・改善に携わる教職員や学生スタッフが活用可能な「学習環境デザインブック」を開発した。塚原を代表とするサブグループでは、コロナ下の体験とコロナ後の大学教育について、大学教育学会会員を対象に大学教員調査を企画した。これらの報告を中心に、本課題研究の成果、残された課題、今後の展開などについて、複数の視点から考察を行う。

企画者：

サブグループ 1：塚原修一（関西国際大学）、濱名 篤（関西国際大学）、山田礼子（同志社大学）、川嶋太津夫（大阪大学）、森 利枝（大学改革支援・学位授与機構）、白川優治（千葉大学）、深澤晶久（実践女子大学）

サブグループ 2：千葉美保子（甲南大学）、村上正行（大阪大学）、岩崎千晶（関西大学）、川面きよ（成城大学）、浦田 悠（大阪大学）、遠海友紀（東北学院大学）、嶋田みのり（東北学院大学）、多田泰紘（京都橘大学）、石井和也（宇都宮大学）

司会者：川嶋太津夫（大阪大学）

報告 1：学習環境に関する実態把握の調査・評価指標の開発 - 「ニューノーマル時代における学習環境デザインモデルの構築」のこれまでの活動

報告者：村上正行（大阪大学）

報告 2：学習環境デザインブックの開発 - 学習支援のデザインを中心に

報告者：嶋田みのり（東北学院大学）

報告 3：ニューノーマル時代に対応する学習環境・学習支援のデザイン - サブグループ 2 の研究成果と今後の展望

報告者：千葉美保子（甲南大学）

報告 4：「コロナ後の大学教育に関する調査」からみた大学教育の現状

講演者：白川優治（千葉大学）

報告 5：コロナ禍をへた大学の授業と学生の評価 - 学生の学習量の観点から

講演者：森 利枝（大学改革支援・学位授与機構）

報告 6：コロナ後の大学教育と今後の改善点 - 教員調査と事例調査を参考に

講演者：山田礼子（同志社大学）

報告 7：コロナ禍をへた大学教育の可能性 - サブテーマ 1 と課題研究のまとめ

講演者：塚原修一・濱名 篤（関西国際大学）

指定討論：溝上慎一（桐蔭横浜大学）

**【課題研究シンポジウムⅡ】 「大学教育・経営人材の育成とプログラム開発に関する研究」
(2号棟 202 講義室)**

学会課題研究「大学教育・経営人材の育成とプログラム開発に関する研究」は今回が課題研究として最後の発表となる。これまでに、課題研究集会および大会ラウンドテーブルで、大学院プログラム修了者の声を聞き、大学院や履修証明プログラムの設計・教育に関わった研究者らの経験を共有してきた。並行して、テーマに関連する既存の知見の体系化を進めてきた。それらを踏まえ、今回の課題研究集会では以下の4点について発表を行う。

- (1) 大学教育・経営人材の育成プログラムの設計理念と実践
- (2) 大学職員研究の知見と修了生調査にみる論点
- (3) 大学教育・経営人材のアイデンティティ形成とキャリア
- (4) 高等教育大学院プログラムの国際比較

はじめに、趣旨説明を兼ねて、これまでに実施してきた大会ラウンドテーブルおよび課題研究集会、研究セミナーや交流会での論点整理を、研究代表者が行う。(1)については東北大学で履修証明プログラムの運営と実践に当たっている戸村理氏が発表を行う。(2)については、これまでの大学職員研究の知見、および大学院プログラムの修了生調査をもとに井芹俊太郎氏が論点提起を行う。(3)については、職員のアイデンティティや多様性、キャリアといった論点を巡って松村彩子氏が話題提供を行う。(4)については、主にアメリカにおける高等教育分野の大学院教育プログラムについて調査してきた成果を研究代表者が報告する。合わせて、イギリスの状況にも触れる。

以上の発表を受けて、本課題研究の担当理事を務めていただいた鳥居朋子氏にコメントを依頼する。

今回の課題研究集会の報告では、大学教育・経営人材の育成・成長とプログラム開発に関わる現状と展望を整理し、3年間の課題研究の総括を図りたい。だが、大学に関わる専門人材の育成は今後、さらなる検討が必要な重要課題である。参加者から忌憚のない質問・コメントを自由に提起いただき、課題研究終了後も議論を深めていくための手掛かりとできれば幸いである。

企画者：福留東土（東京大学）、井芹俊太郎（神田外語大学）、木村弘志（一橋大学・東京大学）、中世古貴彦（九州産業大学）、戸村理（東北大学）、栗原郁太（東京大学大学院）、河本達毅（桐蔭横浜大学）、水野（林）貴子（東京大学）、蝶慎一（香川大学）

発表者：戸村理（東北大学）、井芹俊太郎（神田外語大学）、松村彩子（名古屋大学・非会員）、福留東土（東京大学）

司会者：蝶慎一（香川大学）

指定討論者：鳥居朋子（立命館大学）

12:00 ～ 13:00 休憩

13:00 ～ 15:30

**【課題研究シンポジウムⅢ】 「職場としての大学のリアル - SDGs の観点から考える男女共同参画・教職協働・働き方改革」
(2号棟 201 講義室)**

本課題研究のテーマである男女共同参画・教職協働・働き方改革は、開かれた組織や多様性、透明性、構成員の幸福度や働きがいを、大学において実現するものである。これは、これまで職能開発やマネジメ

ント改革を中心に議論されてきた大学改革に、生活の質や自己実現、共同体という視点を導入するものである。この点において、多くの大学は、ミッション・ステートメントにおいて、大学理念を提示している。しかしながら、多くの教職員が、大学理念と現場の実情の乖離に悩んでいることも確かである。そこで、本シンポジウムでは、近著『大学職員のリアル』において、大学職員のやりがいと悩みを明らかにした倉部史記氏、かつて文部科学省において教育行政に携わり、現在は、早稲田大学において大学業務の現場に立たれている喜久里要氏をお迎えする。その上で、職員・教員双方の実情に詳しい本課題研究メンバーによる話題提供の後、フロアとのやり取りを行う。

企画者：清水栄子（追手門学院大学・共通教育機構）・ダガンさかの（金沢大学・融合学域・先導学類）・私市佐代美（学校法人武庫川学院・人事部）・奈良雅之（目白大学・保健医療学部・理学療法学科）・福島真司（大正大学・エンロールメント・マネジメント研究所）・前田ひとみ（目白大学・外国語学部・英米語学科）・上田忠憲（大正大学・図書館情報メディア部）・上島洋佑（新潟大学・教育基盤機構）・吉永契一郎（金沢大学・国際基幹教育院）

プログラム

司会者：前田ひとみ

1. 趣旨説明（吉永契一郎）
2. 「既存の調査結果からみた職場としての大学」（上島洋佑）
3. 話題提供 1（倉部史記）「大学を出て感じた大学のリアル」
4. 話題提供 2（喜久里要・早稲田大学リサーチ・イノベーション・センター）
「大学に入って感じた大学のリアル」
5. 座談会
「働きがいのリアル」私市佐代美・福島真司・倉部史記・喜久里要・上島洋佑
6. フロアとの討議
7. コメント（中井俊樹・愛媛大学・教育・学生支援機構）
8. まとめ（吉永契一郎）

【課題研究シンポジウムⅣ】 「学士課程における卒業研究教育の目標・評価・方法」 (2号棟 202 講義室)

本課題研究は、学士課程における卒業研究教育の目標・評価・方法の現状と課題を明らかにするとともに、より効果的な卒業研究教育の実現方法を模索することを目的として、本年度より新たに採択されたものである。

大学教育の質保証の観点から、学士課程教育としての各種方針の策定、学修成果の可視化、それらに基づく教学マネジメントが推進されている。とりわけ、多くの大学で課されている卒業研究は、学士課程教育の成果を統合的・最終的・客観的に検証できるものと目され、より良い大学教育の在り方を議論する上で重要なテーマと考える。

本課題研究シンポジウムでは、鳥の目として卒業研究教育の実態に関する全国学科長調査の結果を踏まえつつ、虫の目として人文・社会・自然・医療の各分野における卒業研究教育の事例報告による多面的な検討を加え、魚の目として会員の皆様からの質疑やコメントをいただくことで学士課程における卒業研究教育についての議論を深めたい。

企画者：西野毅朗（京都橘大学）、山田嘉徳（関西大学）、岩田貴帆（関西学院大学）、篠田雅人（早稲田大学）、串本剛（東北大学）、山内洋（大正大学）、土井義夫（朝日大学）、川上忠重（法政大学）、佐々木誠（秋田大学・非会員）、服部律子（奈良学園大学・非会員）

司会者：岩田貴帆（関西学院大学）

1. 学士課程における卒業研究教育の目標・評価・方法の研究 ―趣旨説明―
研究代表者：西野毅朗（京都橘大学）
2. 卒業研究教育の実態調査 ―全国学科長調査の結果報告―
報告者：西野毅朗（京都橘大学）
3. 卒業研究教育の事例報告 ―多様な在り方の検討―
報告者：山内洋（大正大学）、土井義夫（朝日大学）、川上忠重（法政大学）、
佐々木誠（秋田大学・非会員）
4. 総合討論：山田嘉徳（関西大学）、篠田雅人（早稲田大学）、各報告者
5. 総括：串本剛（東北大学）

15:40 ～ 16:00 閉会行事（2号棟 201 講義室）
 学会副会長挨拶
 次年度大会開催校・課題研究集会開催校挨拶

＜課題研究集会参加申し込み要領＞

1. 参加申し込みについて

大学教育学会 2023 年度課題研究集会は会員および学生会員のみ、事前申し込みが可能です。学会ウェブサイト内の会員ページから参加登録を行い、10月20日（金）17時までにオンライン決済（クレジット払い）にて参加費をお支払いください。非会員の申込は大会当日、会場でのみ受け付けます。

なお、準備の都合上、会員の皆様には事前申し込みにご協力をお願いします。

事前参加費申込・払込期間：2023年9月20日（水）～ 10月20日（金）17:00 まで

非会員及び事前参加申込されなかった会員の申込・払込期間：2023年11月1日（水）～大会当日

【参加費用一覧】

費用項目		事前申し込み (10月20日(金)まで)	非会員及び会員 大会当日申し込み者 11月1日(水)～
		クレジット払い	クレジット払い
参加費	会員・一般	6,000 円	7,000 円
	学 生	2,000 円	3,000 円
情報交換会費 (事前申込みを！)	会員・一般	5,000 円	6,000 円
	学 生	2,000 円	2,000 円
11月11日(土)のお弁当		700 円または 1,300 円(税込)	申し込み不可
11月12日(土)のお弁当		700 円または 1,300 円(税込)	申し込み不可

- ・払い込みされた参加費等は、理由を問わず返却いたしません。
- ・やむを得ずクレジットカードが利用できない場合は学会業務取扱センター（g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp）までお問合せください。
- ・会場周辺には、コンビニ・売店等の営業がありません。事前申し込みの際にお弁当を申し込まれない場合、非会員および大会当日申し込みの場合は、昼食は各自でご準備頂き会場にお越しください。
- ・合計金額（お申し込みの場合、お弁当代や情報交換会費を含む）は 10月20日（金）までに入金を完了させ

てください。【締切期間厳守】

・＜団体会員について＞ 団体会員の ID で参加登録をする場合、1 名しか申し込むことができません。複数名が参加をご希望の場合は、学会業務取扱センター(g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp)までご連絡ください。追加で大会参加者限定の ID を発行しますので、そちらで参加申込をしてください。

・参加登録者名義以外での入金(公費払い含む)の場合、別途学会業務取扱センター(g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp)まで、送金日・入金額・振込名義・明細等を必ずご連絡ください。

・申し込みサイトは10月20日(金)に閉鎖します。10月20日(金)までに入金まで完了されていない場合は、大会当日に受付にて当日料金をお支払いください。(クレジット払いのみ)

2. 宿泊ホテルのご案内

金沢市内のホテルについては、京王観光より別途案内します。詳しくは参加申込サイトでご確認ください。金沢市街地のホテルは非常に込み合いますので、お早めに手配されることをお勧めします。

3. クローク

クロークにつきましては、2号棟2階事務局(教務課)に設けます。

4. 学会事務局

学会事務局は、2号館3階の315講義室に開設いたします。

5. 書籍・企業展示

各出版社様及び企業様の展示ブースは、2号館2階学生ホールで行います。多くのご参加をお待ちしています。

6. 課題研究集会実行委員会事務局(本部)

研究会の実行委員会事務局は、2号棟2階事務局(教務課)に設置します。何か問題が生じたときは実行委員会事務局までご連絡ください。

7. 大会会場へのアクセス

大学内駐車場がご利用いただけます。必ず利用の有無を申込時に登録してください。また公共交通機関の他、北陸鉄道バスの臨時増便を予定しています。

・お車でお越しの場合

太陽が丘2号棟裏(東口入口)駐車場をご利用ください。

なお、駐車場ご利用にあたっては、お申し込み時に登録が必要です。

・タクシーをご利用の場合

金沢駅タクシー乗り場より乗車 所要時間約30分(3,500円程度)

・北陸鉄道バスをご利用の場合 *交通系ICカードはご利用できません。ご注意ください。

金沢兼六園口(東口)より乗車 所要時間約30分~40分(410円)

7番乗場 「12 湯涌温泉ゆき」「12 北陸大学太陽が丘ゆき」「12 北陸大学薬学部ゆき」

8番乗場 「95 北陸大学太陽が丘ゆき」「95 北陸大学薬学部ゆき」

8. 託児サービスの利用の有無

利用の有無を事前申込時に登録してください(先着12名)。事前に記入いただく申込書があります。

利用希望がある方は、必ず10月20日までに登録もしくは登録情報の修正をお願いします。当日の託児サービス受付は致しかねます。

9. インターネット接続について

北陸大学では、eduroam の使用はできません。希望者にはゲストアカウントを発行しますので、当日受付にてお申し込みください。

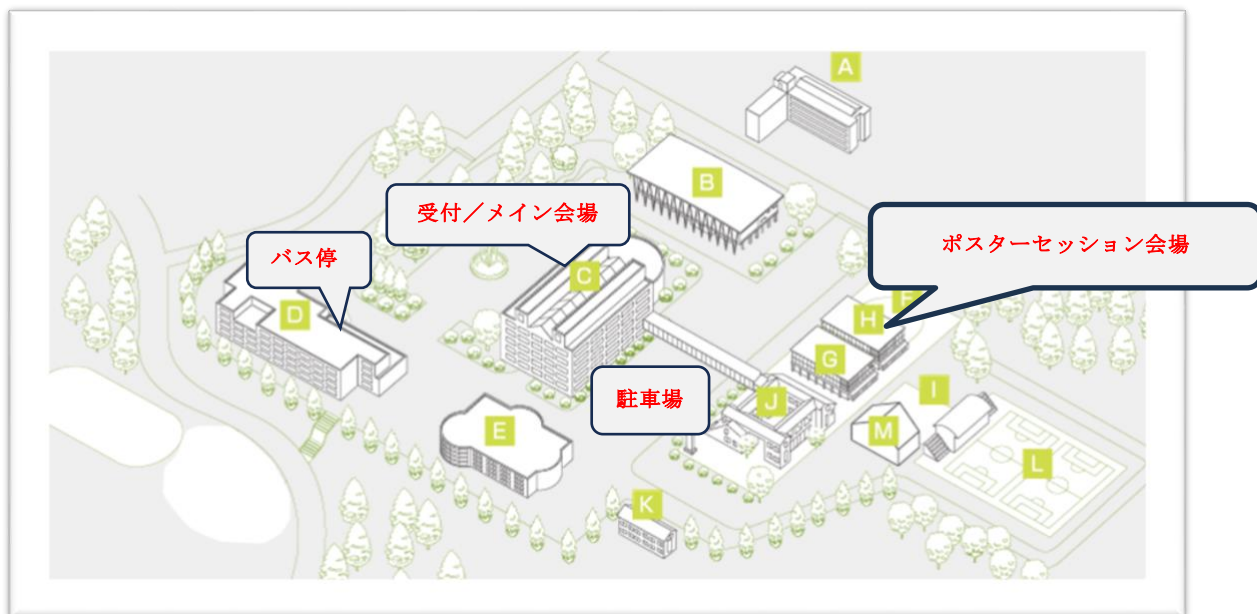
10. ポスターセッションについて

対面でのポスターセッションとし、11月11日（土）10:00～12:15 に実施します。当日、掲示用のポスターを持参してください。発表方法・パネルサイズなどについての詳細は、採否通知とともに、発表者へ連絡します。

11. 課題研究集会実行委員会の連絡先

課題研究集会実行委員会へのお問い合わせにつきましては、
jacue-kikaku2023@hokuriku-u.ac.jp にメールでご連絡ください。

12. 大会会場案内図



受付/メイン会場

ポスターセッション会場

北陸鉄道バス停

駐車場

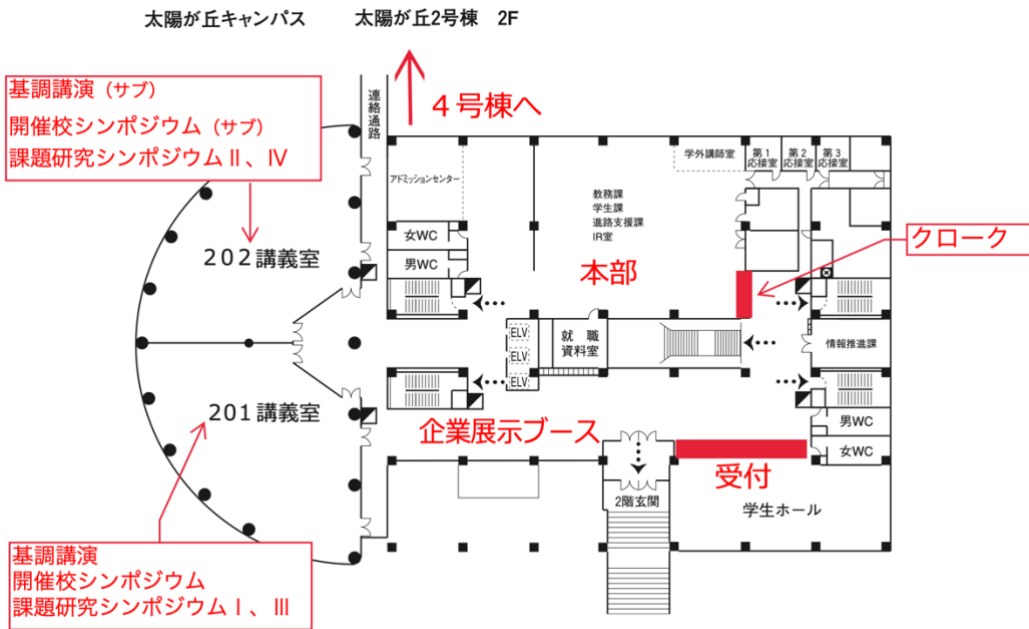
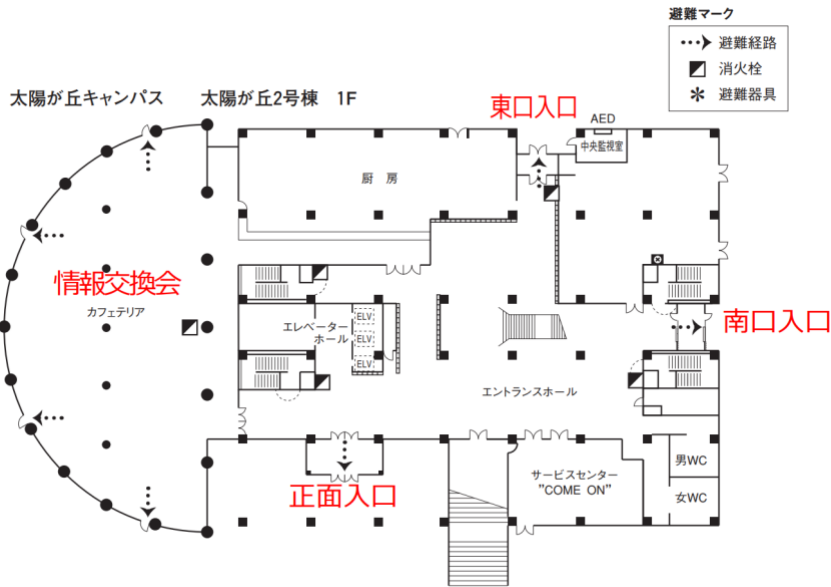
C 太陽が丘2号棟

H 太陽が丘4号棟

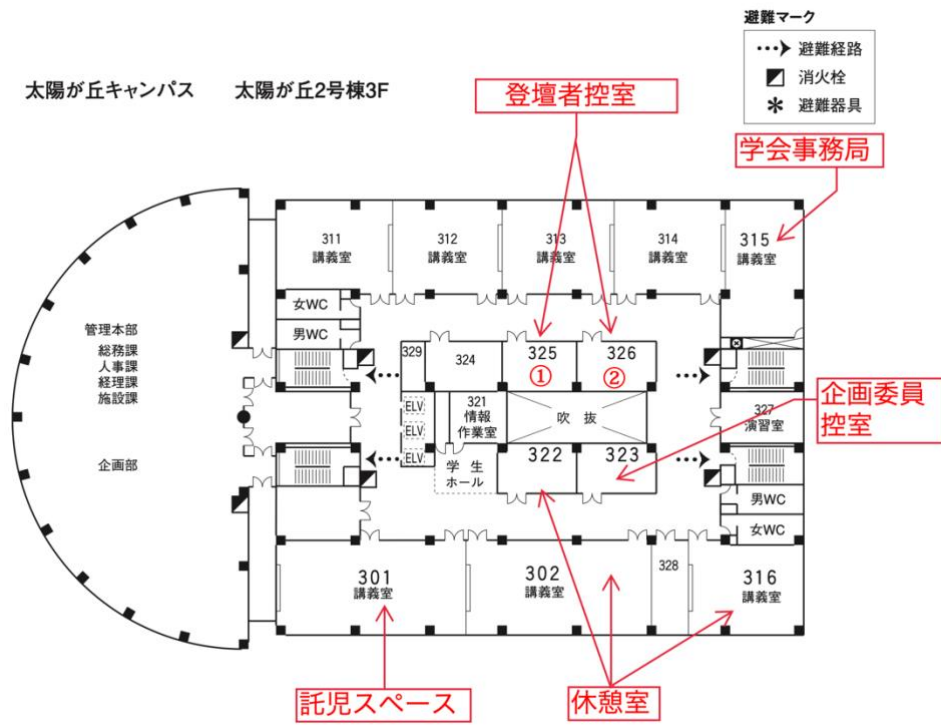
D 太陽が丘1号棟前

C 太陽が丘2号棟の裏

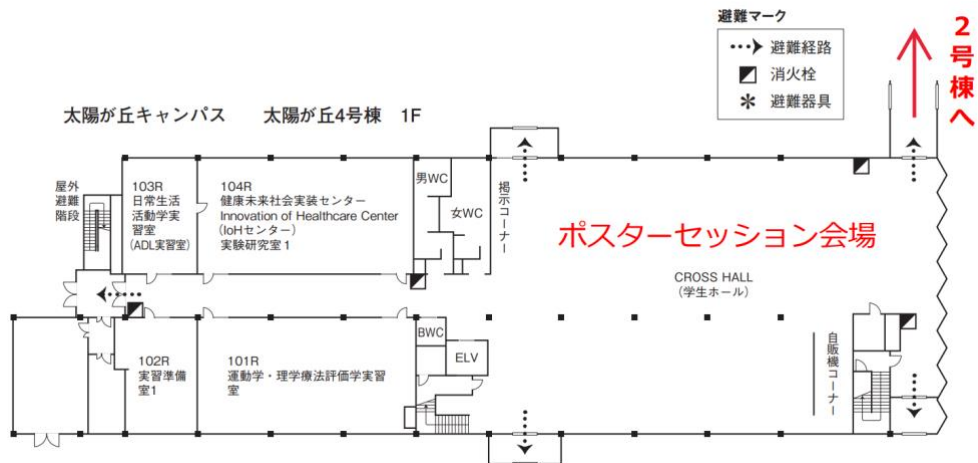
【フロアマップ】



太陽が丘キャンパス 太陽が丘2号棟3F



太陽が丘キャンパス 太陽が丘4号棟 1F



＝理事会便り＝

2023年8月19日に2023年度第2回理事会が開催されました。

詳細は、ウェブサイトの会員ページに掲載されます。

● 2023年度第45回大会実施報告

2023年6月3日(土)、4日(日)の2日間、大阪大学吹田キャンパスで開催された大学教育学会第45回大会は、出発地によっては開催前日の2日(金)の大雨の影響による交通機関の乱れなどに翻弄された方々もいらっしゃったとは思いますが、多くの方々にご参加いただき無事開催できました。終了後のアンケートでは高い満足度を示すコメントや大会運営に対する高評価も頂戴し、今大会に関わっていただきました全ての方々に感謝申し上げます。一方、改善点などご意見も多数いただいておりますので、次期開催校へと引き継いで参りたいと思います。

● 2023年度課題研究集会について

2023年度課題研究集会は、2023年11月11日(土)・12日(日)の2日間、北陸大学(石川県金沢市太陽が丘1-1)にて対面形式(一部オンライン)での開催、また4年ぶりの情報交換会の開催も予定しております。詳細をご確認頂き、多くの皆様に参加申込をいただければと思います。

● 2024年第46回大会について

2024年度第46回大会は、2024年6月8日(土)、9日(日)の2日間、関西国際大学神戸山手キャンパス(〒650-0006 神戸市中央区諏訪山町3-1、新神戸駅から2駅約3分、県庁前駅から徒歩約10分)にて、開催予定です。詳細は今後学会ウェブサイト、次号のニューズレター等でご案内の予定です。

● 第19回大学教育学会奨励賞募集について

大学教育学会奨励賞は、大学教育および大学教育研究の発展を期して設けられました。受賞対象者は本学会個人会員(学生会員含む)です。2023年度の受賞対象は過去4年間の学会誌(第42巻第1号から第45巻第2号まで)に掲載された論文(研究論文、事例研究論文、展望・総説論文)です。応募は自薦・他薦を問いません。

① 提出書類

<自薦>論文、応募者の略歴及び業績一覧、応募理由(研究の意義・成果など1,000字以内)

<他薦>論文、推薦理由(研究の意義・成果など1,000字以内)

② 募集締め切り 2024年1月9日(火)必着(締切厳守)

③ 送付先 大学教育学会事務局 E-mail: office@jacue.org

なお、奨励賞についての詳細は、「一般社団法人大学教育学会表彰規程」第2章をご確認ください。(本学会ウェブサイト内掲載)

● 2024年度新規課題研究の募集について

2024年度新規課題研究は、2件程度募集予定です。募集期間は10月6日(金)～12月25日(月)の予定です。応募開始の際は一斉メールでの配信、大学教育学会ウェブサイト上でもお知らせいたします。

● 2023年度「大学教育研究入門講座(仮)」開催について【会員限定】

日程:2023年12月3日(日) 9:00～17:00(予定)

開催形式:Zoomによるオンライン形式

詳細等については、今後一斉メールでの配信、大学教育学会ウェブサイト上でご案内予定です。

● 「JACUEセレクション2024」の募集について

11月下旬、募集に関する詳細をご案内予定です。(応募締切:2024年1月上旬予定)対象書籍は、著者または編者に会員(個人会員及び団体会員)が含まれるものに限りです。

＝事務局から＝

● 会費納入のお願い

2023年度会費・2022年度迄の会費未納分を含めた会費請求書・郵便払込取扱票については別便の郵送にて送付しております。また、準備の都合上、既に納付済みの方にも請求書が送付されている場合がございます。ご容赦いただきますようお願いいたします。

納入は、下記オンライン決済をご利用いただけます。また、従来の郵便振替口座をご利用いただくことも可能です。領収書につきましては、下記オンライン発行をご利用ください。

年会費等郵便振替口座 00210-9-102857 「一般社団法人大学教育学会」

また、銀行からのご入金を希望される場合は、入金前に必ず、以下の大学教育学会 学会業務取扱センターまでその旨ご連絡ください。

【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター

TEL:03-5981-9824、 FAX:03-5981-9852

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

過年度会費の滞納がある場合は、学会誌の発送を見送る措置をとらせていただいております。学会ウェブサイト内の会員管理システムにあります「会費納付状況」からご自身で納入状況を確認可能です。また、学会誌への投稿、大会及び課題研究集会での発表申込みは、申込時の当該年度分までの会費が納入済みであることが条件となっております。納入忘れ防止の為、年度初めの納入を推奨しております。

● 年会費のクレジットカード決済のご案内

2018年度より、年会費のクレジットカードによるオンライン決済ができるようになっております。

同時に領収書のオンライン発行も可能となりましたので、ご利用ください。

学会ウェブサイト内の会員管理システムにある「オンラインクレジット決済システム」をクリックしてください。

<オンライン決済の場合>

- ① 会員情報管理認証画面に移行しますので、会員IDとパスワードを入力し、ログインします。
- ② 「会費納付状況」をクリックしますと、未納分の会費請求金額が赤色で示されますので、ご確認の上、「年会費のクレジット決済」を選択してください。
* 過年度分の会費が未納の場合、未納分を合算した請求額を決済金額としておりますので、単年度ずつの決済を希望される場合は、決済金額を変更してください。この場合、古い年度分から決済されます。
- ③ オンライン決済画面では、決済金額を確認し、クレジットカード情報を入力してください。
* クレジットカード情報等の決済内容は、決済代行会社へ送信されるだけで、大学教育学会のサーバーに蓄積されることはありません。また、決済代行会社への通信は、SSL暗号化通信により、通信の秘密は保持されます。

<領収書のオンライン発行の手順>

- ① 会員情報管理認証画面に移行しますので、会員IDとパスワードを入力し、ログインします。
- ② 「会費納付状況」をクリックします。
- ③ 年度ごとに納付状況が示されます。領収書の必要な年度の「領収書の発行」ボタンをクリックします。
- ④ 領収書発行の画面の指示に従ってください。

● オンライン検索サービスについて

従来の会員名簿に代わり、会員検索が可能なサービスです。個人会員、団体会員が利用可能です。検索対象は個人会員のみです。

情報検索項目(基本情報)は、【氏名】、【カナ】、【所属先】、【専門領域】の4項目で検索(部分検索)可能です。その他の項目の開示・非開示については、会員本人の選択項目になります。

こちらのサービスを利用される際にも、ID(会員番号)・PWの入力が必要になります。

● メールマガジンの受信設定のお願い

現在、会員の皆様に年数回、大学教育学会メール通信(メールマガジン)を配信しております。

しかし、受信拒否や宛先不明を理由に返送されてくるメールが多数あります。ご登録のアドレスにおいて jacue.office@ml.gakkai.ne.jp より送信されましたメールを受信できるよう設定をお願いいたします。

最新のメールマガジンは、7月21日付けで配信されております。受信されていらっしゃらない方は受信設定をご確認ください。

● 住所変更等会員情報更新のお願い

ご住所、ご所属や役職等に変更がある方は、速やかに、学会ウェブサイトの「会員管理システム」内の「会員情報の照会・更新」からご自身で変更をお願いいたします。ID(会員番号)・PWを紛失された方は、大学教育学会 学会業務取扱センターまでお問い合わせください。

定期刊行物は、宅配業者のメール便を利用しているため、転居にともなう転送はされず数週間後、事務局へ返送されてまいります。何卒ご協力をお願いいたします。

● 学会関連資料のご寄贈のお願い

探究している資料は、以下の通りです。下記学会事務局まで「着払い」でお送りください。

第1回大会発表要旨集録(1979年度)

課題研究集会要旨集録(1981,1985~1987, 1989,1992,1993年度)



【学会事務局】

〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原2-8-20-204

Tel/ Fax: 042-707-8112

E-mail:office@jacue.org

【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2丁目39-2大住ビル401号室

TEL:03-5981-9824、FAX:03-5981-9852

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp